

## 桃山学院大学における主な取組

改革1 就職率と学生満足度 100%をめざし、教育改革を推進します。

### ・ビジネスデザイン学部の設置 (2021年)

経営学部ビジネスデザイン学科 (2018年設置) を改組し、本学7番目の学部として設置しました。70を超える企業等との課題解決型授業 (PBL) や世界標準のリーダーシップ教育などにより、数々のビジネスプランコンテストでの受賞をはじめ、一期生の就職率は100% (卒業生全員の進路が決定) となるなど、その教育成果が社会から高く評価されています。



### ・社会学部社会福祉学科をソーシャルデザイン学科へ (2022年)

SDGs等の持続可能な共生社会の実現という社会の要請に応え、約40年の福祉の現場での実績を元に、福祉的視点 (福祉マインド) で社会の課題を捉え、未来をデザインできる学びにアップデートするため、学科の名称変更を行いました。



### ・共通教育機構の設置 (2015年)

本学の共通教育の運営と資質向上を担う組織として、従来の共通教育協議会を発展させ、共通教育機構として設置しました。カリキュラムの充実だけでなく、機構専属となる教員人事制度も段階的に整備し、組織的強化を図りました。

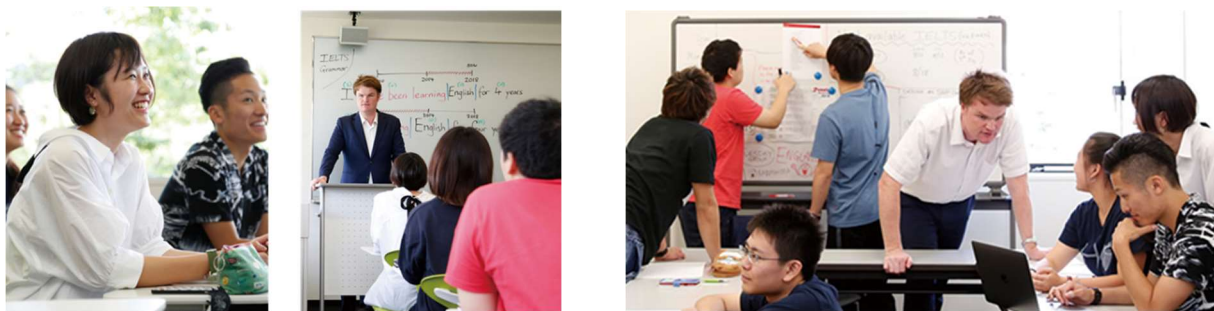
### ・学習支援センターの設置（2013年）

レポート作成やプレゼンテーションなど、高校までとは違った大学での学び方をサポートするため、学習支援センターを設置しました。専門の学習アドバイザーだけでなく、MAPS（学生スタッフ）からの指導も受けることができ、ワークショップなど、体験的に学べるプログラムも充実させています。

改革2 グローバルスタンダードに基づく教育を行う、「真の国際化」を推進します。

### ・Super Global Program (SGP) の運用を開始

建学の精神である「世界の市民」として国際社会で活躍できる人材を育成するため、Super Global Program (SGP) の運用を開始しています。日本国内において語学留学に相当する授業を実施し、海外協定校において英語で専門科目を学ぶ「交換留学」に参加することや、TOEIC スコア 800 点以上レベルの英語力の習得を目指す特別奨励プログラムです。



### ・Beginning Step Program (BSP) の運用を開始

主として1年次生を対象とした留学プログラム「Beginning Step Program (BSP)」を開始しました。夏期・春期休暇の約10日間、アジアの2ヵ国地域で実施する異文化体験プログラムで、入学して間もない時期に異文化を体験し、大学での「学び」の方向性を見つけることが目的です。また、名称の通り、更なる中長期の留学や国際交流への足掛かりとなるプログラムにもなっています。

### ・協定校の拡大

本学は第二期中長期ビジョン開始時、既に世界22ヵ国・地域、55の大学・機関と交流協定を締結しておりました。コロナ禍による海外渡航や協定先開拓が難しい時期があったものの、更なる留学機会の拡大と真の国際化を目指すため精力的に活動した結果、現在では世界26ヶ国・地域、64の大学・機関まで拡充しています。

協定大学・機関の一覧

[https://www.andrew.ac.jp/international/exchange\\_system.html](https://www.andrew.ac.jp/international/exchange_system.html)

## 改革3 あらゆる世代のニーズに応える生涯学習の場として展開します。

### ・地域連携機構の設置（2017年）

地域連携事業の適切かつ円滑な運営とその充実・向上、情報や窓口の一元化を目的として地域連携機構を設置しました。開学60周年となる2019年、南大阪4市（和泉市・泉大津市・岸和田市・河内長野市）と交わした「4つの約束」の下、学生・教職員が協同して地域の諸問題解決に取り組んでいます。



### ・スポーツ教育センターの設置（2020年）

学生の健康・スポーツ教育やスポーツ推薦入学者のサポート、UNIVASへの対応等を行う組織として、スポーツ教育センターを設置しました。学生だけでなく、地域住民向けのスポーツ教育や健康プログラムを実施するなど、子どもからシニアまで幅広く生涯学習の場を提供する活動も行っています。

#### <地域住民向けプログラム例>

- ・キッズ運動教室（小学1年生～2年生）
- ・桃山スポーツクラブ「キッズ水泳教室」（身長120cm以上の小学生）
- ・キッズサッカークリニック「桃大でサッカーを科学しよう！」（小学4年生～6年生）
- ・歩行能力向上のための運動教室（65歳以上）

### ・リカレント教育推進事業の開始（2021年）

社会人などのビジネスパーソンを対象とした、産学連携の研修プログラムを開始しました。

#### <社会人向けプログラム例>

- ・桃山学院大学ビジネススクール「ビジネスデザイン・ジム」（オンライン・あべの）
- ・桃山学院大学ビジネススクール「デジタル人材育成プログラム」（オンライン・和泉）
- ・南大阪DX/GX推進リーダー育成プログラム（オンライン・和泉）

文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」採択事業

### ・大学院における単位制学費（2019年）／秋入学制度の導入

グローバルスタンダードに則り、また、社会人など様々なステージの方が学びやすい体制を整えるため、大学院において秋入学制度および単位制学費（社会人のみ）を導入しました。

## 桃山学院教育大学における主な取組

### ・桃山学院教育大学の開学（2018年）

2018年に学校法人プール学院より設置者変更によりプール学院大学の教育研究資源を継承し、桃山学院教育大学を開学いたしました。2020年には学部学科名称を教育学部教育学科から人間教育学部人間教育学科に変更し、2021年には入学定員を175名から270名に増加させるなど組織的強化を図りつつ、チューター（担任）制度に代表される、少人数&教職員チーム制によるきめ細かな指導・支援体制の整備による質的強化も図りました。その成果は、学校教員採用試験等の合格者数に表れています。



桃山学院教育大学ウェブサイト

<https://www.andrew-edu.ac.jp/>



## 桃山学院中学校・高等学校における主な取組

### 改革1 特色ある教育プログラムの実施

#### ・健全な人格を育成する全学的な取組

健全な人格の育成は、本校教育の最重要目標です。教育環境を整えながら、教員の資質の向上を図り、中学高校教員が一丸となって教育指導を徹底して参りました。「自由で明るい民主的な校風」を損なうことなく、全人教育という視野に立ち、知育・体育・徳育の推進に努めていく。さらに、キリスト教精神に基づいた教育を充実させ宗教心の育成を推進するため、聖テモテ館内の、大阪聖アンデレ教会礼拝堂の拡充を行いました。

### 改革2 全国レベルの進学校へ

#### ・大学進学実績の向上

「大阪の進学校」から「全国の進学校」への進化を図るため、教員の教科指導力の向上のための教員相互の授業見学、生徒のモチベーションアップのための進路指導回数の拡充、中学低学力層の支援のための自習ステージ等、既存制度のさらなる進化と改革に努めた結果、国公立大学合格者数は、2013年度入試の106名から、2023年度入試では264名と大幅に増加しました。

さらに、2022年度高校入学生から2年次に希望制で一貫生も含め、成績上位者のための東大・京大・医学部医学科レベルを目指すコース（クラス）の設置を行う予定です。

### 改革3 アスリート指定クラブの全国大会優勝へ

#### ・アスリート指定クラブの活躍

アスリート指定クラブの全国大会上位入賞、全国優勝を視野に入れた体制作りのため、室内プールの建造やグラウンドの人工芝化といったハード面の整備に加え、留学生受入体制や特待生制度、コーチ制度の導入などを行いました。

近年の主な活動実績は以下をご覧ください。

クラブ活動

<https://www.momoyamagakuin-h.ed.jp/life/club/>

### 改革4 国際教育の推進

#### ・アジア圏に目を向けた国際教育の推進

これまでの国際教育は北米中心でしたが、アジア圏を舞台とした国際教育を推進するため、中国、台湾、マレーシアといった国・地域からの留学生の受け入れや交流事業を展開しました。また、有能な英語ネイティブ教員を採用するため英語科特別教員制度を導入しています。

## 法人における主な取組

### 改革1 学院ブランディングの確立と校友ネットワークの構築

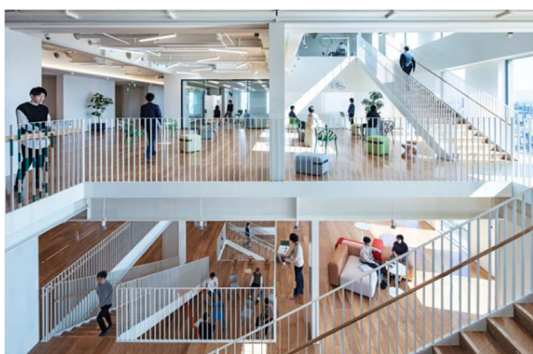
#### ・アイデンティティ教育の強化（2014年）

「桃山らしさ」と「桃山で学ぶ意義」を伝え、在学生の勉学意欲と帰属意識を高めるため、学院共通の教育として、自校史とキリスト教を中心とした桃山学院のアイデンティティ教育を導入しました。

### 改革2 教育改革を支える組織・財務基盤の確立

#### ・聖テモテ館の竣工（2020年）

昭和町キャンパス内に9階建ての「聖テモテ館」を建設しました。1階にはエントランスホールと礼拝堂、2階には中学校・高等学校多目的室、3階には中学校・高等学校の食堂が置かれ、4階から9階は桃山学院大学ビジネスデザイン学部の学舎として利用されています。なお、本施設は、2021年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しています。



#### ・法人出資会社「アンデレパートナーズ」の設立（2016年）

本学院の学生・生徒のサービスに資するとともに、業務効率化や財務基盤強化に寄与し、教育研究活動や社会貢献活動等を側面的に支援するため、法人出資による会社を設立しました。

#### ・寄付金の戦略的獲得

寄付金獲得戦略に基づき、寄付金ラインナップの拡充（指定寄付メニューの拡充や継続寄付制度「桃山サポーターズ」の導入など）と専用ウェブサイトの構築を行い、寄付金募集体制を整備しました。

#### ・経営ガバナンスの確立

経営ガバナンス強化および意思決定の迅速化のために、職務権限規程を制定しました。また、専任職員を対象に「目標による管理（MBO）」を導入しました。

## <未達成となった主な事項・課題>

### ・財務基盤の確立

2022年度に「帰属収支差額比率10%達成」(現:事業活動収支差額比率)を財務ミッションとしておりましたが、これを達成することができませんでした。これは、地域創生に伴い大学の入学定員管理が厳格化されたため、入学者数を抑制し、学生生徒等納付金収入が見込みより減少したこと、昨今のエネルギー価格上昇に伴う物価高騰や目標設定時から更なる消費増税が実施されたことにより経費が大幅に増加したことなどによるものです。また、これまで教育活動の一助としてきた受取利息がマイナス金利の影響により大幅に減少したことも要因として挙げられます。

第二期中長期ビジョンの計画遂行の中で浮かび上がったこれらの課題等につきましては、その要因を分析し、次期中期計画である学校法人桃山学院将来構想に引き継ぎつつ、更なる発展を目指して参ります。

引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。